

 Garoon

導 入 事 例

interview for

サンコール株式会社



## Notes 移行の最適解として選ばれた Garoon+kintone 紙ベースの業務を刷新、保守の負担も軽減

自動車分野を中心に高度な精密塑性加工技術を用いた精密機能部品の開発から製造、販売までを手掛けているサンコール株式会社。長年利用してきた IBM Notes / Domino(以下、Notes) から、サイボウズが提供する中堅・大企業向けグループウェア「サイボウズ Garoon」および業務改善プラットフォーム「kintone」に移行。新たな情報共有基盤を整備している。Notes 移行の経緯について、常務執行役員 業務管理部門長 杉村 和俊氏および同部門 情報企画課 飛田 朋宏氏にお話を伺った。

### 導入前の課題 Notes はメール機能以外 使いこなせておらず、 費用対効果が悪いと感じていた

サンコール株式会社は、自動車のエンジンに使用される弁ばねやリングギアといった各種精密機能部品、HDD サスペンションや光コネクタなど電子情報通信分野に必要な各種部品を開発製造している。世界7か国、15の海外拠点を展開するグローバル企業として、電動化分野や医療・介護分野、環境・エネルギー分野へと新規事業開拓も行なっている。現在は中期経営計画「Global Growth Plan 21」に取り組んでおり、売上高500億円超、営業利益率6.5%を目指して成長分野への経営資源投入にも積極的だ。

そんな同社では、長年に渡って業務基盤として Notes を利用していたが、メール機能以外は十分に活用しきれていなかったという。「Notes は豊富な機能が備わっていますが、我々にはリッチ過ぎて使いこなせていませんでした。Notes DB で3つほどのワークフローは運用していたものの、それ以外の申請は紙。スケジュールも使っていない人が多く、会議室予約システムも別のものを使っていました」と杉村氏は当時を振り返る。飛田氏も「このまま Notes を使い続けるのは費用対効果が良くないのではないか」と感じていたという。



杉村 和俊氏

常務執行役員 業務管理部門長

## 導入前の課題

- Notes はメール機能以外、あまり使いこなせておらず **費用対効果が悪い**と感じていた
- Notes DB で3つほどワークフローを運用していたが、**それ以外の申請は紙**だった

そんな折、新たに Notes のバージョンアップのタイミングが訪れた。「情報をどう扱うことがビジネスに貢献するのか、情報企画課として提案を求められました。そこで、Notes をそのままバージョンアップすることも含めて、新たな情報基盤に必要な要件を検討することになったのです」と飛田氏は語る。

また杉村氏が念頭に置いていたのは、システムの内製化だった。「何かあったときにいちいち業者に頼んでいては、業務スピードが下がってしまいます。システムに修正があれば、なるべく自社内で早く対応できる環境にしたいと思っていました」と力説する。

### 導入の決め手 多言語対応とクラウド、kintone と併用が可能な点を評価

今回の試みは、仕組みを再構築するプロジェクトではなく、既存の Notes で行ってきた業務を踏襲できるインフラ移行のプロジェクトにしたいという思いがあった飛田氏。「いずれはグループ全体で共有できる基盤も検討の1つに挙げていました。ただし、以前は工場の計画停電などでメールを一時的に停止せざるを得ない場面もあったため、できればクラウドにしたいと考えたのです」。

そこで、①Notes の業務がそのまま移行できること ②海外の拠点でも利用できること（多言語対応）③クラウドで使えることを要件に、新たな情報共有基盤を検討した。

同時に、紙をベースにした業務フローが社内に多く残っており、これらのフローを電子化して業務効率化する仕組みも必要だった。



飛田 朋宏氏

業務管理部門 情報企画課

そこで注目したのが、業務効率化に役立つ kintone だ。「我々の業務に適用できそうなテンプレートが kintone に数多く用意されている点が魅力的でした。テンプレートをヒントに、活用の幅を広げていくことができると考えたのです」と飛田氏。サイボウズ株式会社が kintone を使ってマイナンバー管理をしていたことも、高度なセキュリティ要求に対応できる kintone を評価したポイントの 1 つだという。

さらに、飛田氏はサイボウズが提供するグループウェアの Garoon にも注目した。「Garoon にはメール機能やスケジュール機能があります。使い勝手を考えると、1 つのポータル画面から全ての機能が利用できることが理想的ですし、1 つのベンダでソリューションが完結できる方が透過性の面でもメリットが大きい。その意味でも Garoon と kintone の併用が最適なのではないかと考えたのです」。

他にも、サイボウズが国産の製品である点も評価の 1 つに挙げている。「Office 365 なども検討の 1 つに挙がりましたが、海外のメーカーだと何かあったときに対応してもらえるかどうか不安でした。国産の Garoon であれば、使い勝手の面でも現場に浸透しやすく、何かあっても声が掛けやすい。柔軟な対応が期待できます」と杉村氏。

コスト的にも折り合いが合ったことで、最終的な Notes の移行先として、Garoon および kintone が同社の新たな情報活用基盤として採用された。

## ■ ■ ■ 導入効果 Garoon と kintone を意識せず利用、クラウド化で運用負担も軽減

現状は、日本で働く社員を中心に 730 ほどのアカウントで Garoon および kintone が利用されており、違いを意識せずにアクセスできるようになっている。

例えば、kintone で構築されたワークフローで承認依頼が発生すると、Garoon のメールに通知が行われ、メール本文の URL をクリックするとそのまま kintone にアクセスできる。

### kintone のワークフロー通知を、Garoon のメールで受信



「私も含めて、Garoonとkintoneをそれぞれ意識することはありません。誰もが“サイボウズ”が動いていると思っています」とシームレスな連携について杉村氏は評価する。一部 NotesDB で運用していたフローは残っているものの、これまで Notes で行ってきたほぼすべての業務が移行済みだ。

Garoon については、メールやスケジュール、掲示板、ワークフローといった基本機能の活用が中心だ。「これまではメールにてスケジュールを調整し、別の会議室予約システムで施設予約を行っていました。今は会議室予約とスケジュール調整が同時にできるようになり、一元化されて便利です」と杉村氏。

| (全施設)       | 10/07 (月)                                                                  | 10/08 (火)                                                                                                                                 | 10/09 (水)                                                                                                                                   | 10/10 (木)                                                                  | 10/11 (金)                           | 10 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|----|
| Web会議室 S20W | 13:00-16:00<br>( [redacted] , 予定あり)<br>16:00-18:00<br>( [redacted] , 予定あり) | 09:00-11:30<br>WDC開発チームとのテレ<br>コン [Web会議室 S20W]<br>14:00-17:00<br>( [redacted] , 予定あり)<br>17:00-19:00<br>WDC開発チームとのテレ<br>コン [Web会議室 S20W] | 10:30-12:30<br>WDC Interlock Meeting<br>[Web会議室 S20W]<br>13:00-16:00<br>WDC-SCCテレコン<br>[Web会議室 S20W]<br>16:00-18:00<br>( [redacted] , 予定あり) | 09:45-12:00<br>( [redacted] , 予定あり)<br>13:00-17:00<br>( [redacted] , 予定あり) | 15:00-17:00<br>( [redacted] , 予定あり) |    |
| 応接室 N301    |                                                                            | 11:00-15:00<br>( [redacted] , 予定あり)                                                                                                       | 11:00-12:00<br>( [redacted] , 予定あり)                                                                                                         | 16:00-18:00<br>( [redacted] , 予定あり)                                        |                                     |    |
| 応接室 N302    | 14:30-17:00<br>( [redacted] , 予定あり)                                        |                                                                                                                                           |                                                                                                                                             |                                                                            | 14:00-15:00<br>( [redacted] , 予定あり) |    |
| 応接室 N303    |                                                                            | 13:00-15:00<br>( [redacted] , 予定あり)                                                                                                       |                                                                                                                                             |                                                                            |                                     |    |

掲示板については、各部署が全社に通知したい情報が掲示されており、人事異動など社報をはじめ、食堂のメニュー変更のお知らせなどさまざまな情報が一斉通知されている。



★ 医務室だよりNo.98 風しん抗体検査について

カテゴリー : サンコール掲示板  
 差出人 : 医務室 依田  
 作成日時 : 2019年09月19日(木) 10:51  
 更新日時 : 2019年10月04日(金) 09:42  
 掲示期間 : 2019年09月19日(木) ~ 2019年12月27日(金)

医務室だより
SI-No.98  
2019年9月 医務室

---

### 会社の健康診断の機会に風しんの抗体検査が受けられます

**【対象者】**

市区町村から対象者に送られる風しん抗体検査と予防接種クーポン券お持ちの方

令和元年度の対象者は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた方  
 令和2年度の対象者は、昭和37年4月2日～昭和47年4月1日に生まれた方  
※自治体により対応が異なるようです、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

会社の定期健康診断の機会だけでなく、人間ドックの健診機関でも対応可能なようです。ご希望の方は、会社の健康診断担当者にお知らせください。

クーポンが届いて、抗体検査がまだの方は、

抗体検査を受ける

→ 抗体あり  
 → 抗体なし

終了

指定の医療機関で予防接種を受ける

厚生労働省HP「風しんの追加的対策」をご確認ください。

**『風しん』を知っていますか？**

風しんは発熱・発疹・リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症です。近年、風しんにかかる年齢層が、小児から成人へと変化してきていて、昨年より**再流行**しています。

ワークフローについては、接待を受ける際に上長から許可をもらうための接待申請を Garoon によって行っている。「以前は個別に申請の仕組みを運用していましたが、今回一本化できたことでシンプルになりました」と杉村氏。

以前 NotesDB にて構築されていた品質情報の共有アプリは kintone に移行済みだ。営業が受けた顧客からのクレーム情報を kintone に入力し、品質保証の部門担当者がフォローする形で円滑な顧客対応が実現できている。

また、紙で運用されていた業務の効率化として旅費精算アプリが一部稼働し始めており、月末に旅費精算を行ったうえで上長や経理部門の承認を得て銀行振り込みが行われている。

Garoon と kintone 双方にワークフロー機能があるが、議事録の確認といったシンプルなフローであれば Garoon にて実装し、複雑なフローや勘定系に関わる部分は kintone を活用するといった使い分けだ。

システム管理 (各アプリケーション) > ワークフロー > 申請データの管理 > 申請データの詳細

システム化申請 (ドライブ権限変更)

印刷用画面 × 削除する

■ No.システム化-2019-00197 システム化申請 (ドライブ権限変更)

| 申請内容              |                                                                                                                         |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 申請者               | ■■■■■                                                                                                                   |
| 申請日               | 2019年08月26日 (月) 18:41                                                                                                   |
| 申請日               | 2019年08月26日 (月)                                                                                                         |
| 申請部署              | 品質技術課                                                                                                                   |
| 工程コード             | 6310-0100                                                                                                               |
| 連絡先 (内線番号)        | 6104                                                                                                                    |
| 申請カテゴリ            | ドライブ権限                                                                                                                  |
| 目的・理由             | ■■■■■は9月1日付けにて新製品開発課へ移動。<br>ただし、9月1日～9月30日はSMP業務も行う為、SMP/新製品開発の両部門を閲覧できるようにする。<br>全面切り替え (新製品開発課へ) は10月1日より。            |
| 現在 (設定する) PC管理No. | C01892                                                                                                                  |
| 予想効果: 業務効率        | H/年                                                                                                                     |
| 予想効果: コストダウン      | 万円/年                                                                                                                    |
| 予想効果: 生産性UP       | /年                                                                                                                      |
| 定性的効果             |                                                                                                                         |
| 受付日               | 2019年08月28日 (水)                                                                                                         |
| 開発設定予定日           | 2019年08月29日 (木)                                                                                                         |
| 開発設定予定工数          | 1 H                                                                                                                     |
| 開発設定日             | 2019年08月29日 (木)                                                                                                         |
| 開発設定実績工数          | 1                                                                                                                       |
| 対応内容              | 新製品開発課の権限を付けました。10/1日にSMPの権限を外します (特に連絡はおこないませんので、よろしくお願い致します。)<br><br>ログアウト、ログインで反映されます。<br>確認後、問題がなければ、検収の承認をお願い致します。 |
| 検収日               | 2019年08月29日 (木)                                                                                                         |
| 検収者 (フルネーム)       | ■■■■■                                                                                                                   |
| メモ・差し戻し理由         |                                                                                                                         |
| 添付ファイル            |                                                                                                                         |

移行プロジェクトは JBCC 株式会社 京都支店が担当。クラウド環境に移行したことで、これまでオンプレミスで運用管理の手間がかかっていた部分が解消され、保守メンテナンスに関する負担やプレッシャーが軽減できたと飛田氏は評価する。

また、現状は役員など一部に限られるものの、モバイル環境にも手軽にアクセスできるようになったという。「以前の Notes と比べると、同じ環境が社外でも利用できるため使い勝手は上々です。デバイスを選ばず利用できるのはありがたい」と杉村氏は評価する。

飛田氏も「対応しているブラウザの種類やバージョンが豊富で、幅広い環境で利用できる点が魅力的です。従来はクライアント環境が変わるたびにチェックが必要でしたが、今はブラウザだけで対応できるため管理側の負担も軽減できます」と力説する。

## 導入後の効果

- **kintone と Garoon で申請業務**を行うことで、  
**紙ベースの業務を刷新**
- **クラウド環境に移行**したことで、  
**運用管理や保守メンテナンスの負担が軽減**

なおサイボウズ株式会社については、「導入後も現場の要望に対して開発へのエスカレーションも行うなど、真摯に対応いただいています」と、ユーザーの声に誠実に応える姿勢を高く評価している。

### 今後の展望 活用に向けた啓蒙活動と 組織変革の契機になると期待

今後については、まずは Garoon と kintone をしっかりと根付かせていくための啓蒙活動を続けながら、杉村氏の念頭にある内製化に向けた取り組みも加速させていきたい考えだ。また、品質情報の共有アプリの海外拠点や kintone による連結決算情報の収集など、既存業務への拡張も展開していく予定となっている。

「メールと Excel を利用している業務をサイボウズの基盤で行うなど、情報収集用のポータルとしても活用していきたい」と飛田氏。例えば夜勤で働く工場の人向けに行っている紙での業務の申し送りを、サイボウズの基盤で行えるようにしたいという。他にも、コメント機能を利用して 1 つの情報に対して意見が出せるコミュニケーションツールとしての可能性についても期待しているという。

特に新たな基盤を整備したことで、情報企画部門の存在価値も変わってくると杉村氏は見ている。「単なるシステムのお守りではなく、情報どう扱うのか企画して、企業価値を高めるためにどう貢献するのかという性格の部署に変わりつつあります」。今回の Notes 移行を、組織変革の契機にしたいと杉村氏に語っていただいた。



